

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

介護者の支援を考える集い（2・3面）

- 上越で「福祉・介護・健康フェア」
- 福祉の拠点訪ねて一柏崎市「宅ろう所 太陽と月」

11月号
2025
第879号

絵「カボチャ」 作・新井 里沙（加茂市）
作品ももやまー赤と緑の大きなカボチャ。右下の小さなカボチャなどは想像で描き加えた



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp>

つらさを抱え込まないで

介護の悩みを抱え込んで苦しんでいる人の力になりたい。ある事件の裁判をきっかけに始まった勉強会「介護者の支援を考える集い」が今年で10年目を迎えました。毎回活発な議論が交わされ、参加者同士のネットワークも広がってきています。今年も11月29日に新潟市中央区で集いが開かれます。

ジャンル超え勉強会10年目

集いの中心になっているのは新潟市中央区を拠点に活動する弁護士佐藤慎之助さん(45)です。取り組みの原点は、新潟県内で認知症の母親の介護に苦しむ娘が起こした殺人事件でした。

佐藤さんは当時、弁護士になって2年目。先輩の平哲也弁護士と一緒にこの事件の国選弁護人を担当しました。「福祉のことが何も分かっていなかった」という佐藤さんは、社会福祉士の元を訪ねるなどして勉強しながら裁判員裁判に臨みました。

「介護保険制度についてよく知らない、利用したくてもどうしたらいいかわからない—そんな不安から一人で全て抱え込んでしまう



佐藤慎之助さん

人もいるのでは。施設に入れない人、家で介護して外とつながる機会を持ってない人：本当に支援が必要な人ほど声を上げられない現状

介護者の支援を考える集い

殺人事件の裁判がきっかけ

があることが分かりました」と振り返ります。

裁判が終わった後、関わった人たちで打ち上げをして、その場の盛り上がりで勉強会の開催につながりました。

佐藤さんと、いずれも新潟市の社会福祉士である寺口祐司さん(43)と高野朗さん(43)の3人が発起人となって、勉強会は2016年11月、新潟市でスタートしました。その後、新型コロナウイルスの影響で中断した時期がありましたが、現在は長岡市と新潟市で年1回ずつ開いています。

「地域包括支援センターで高齢者の相談対応をしていて、介護家族が疲弊して

自死をしたり高齢者を虐待したりする事例に接してきた。介護をきっかけにこうもつらい人生をたどるなんて…。今のうちになんとかしなければいけないと思った」と、高野さんは勉強会を立ち上げた当時の思いを語ります。

会を通して浮き彫りになったのは、介護家族への支援体制の乏しさでした。

「あの事件は、誰の身にも起こり得ること。介護の問題を積極的に発信し共有し続けなければと思った」と寺口さん。「少子高齢化で介護の負担は増す一方。真面目でがまん強い新潟の県民性から、悩みを外部に打ち明けないで抱え込んでしまうのが心配。介護者家族を支える社会基盤が一層強化されてほしい」と訴えます。

家族であるがゆえの苦しみや葛藤。悲劇を二度と繰り返さないために何ができるか。何をすべきか。模索はこれからも続きます。

参加者同士 広がる連携

11月29日・新潟市総合福祉会館

新潟市の弁護士・佐藤慎之助さんたちによる「介護者の支援を考える集い」。新潟市では毎回70～80人、長岡市は50人前後が参加するそうです。



新潟市で開かれた第3回勉強会の様子。約100人が参加した＝2017年11月、新潟市総合福祉会館

県内各地からケアマネジャーなどの福祉専門職はもとより、弁護士、社会保険労務士、介護の当事者などさまざまな人が参加しています。高齢者の介護に関わる人だけでなく、障がい者の支援をしている人や育児の専門職なども参加していて、リピーターも目立つとい

います。毎回、ミニ講座やグループワークなどを通して、介護にまつわる経済的困窮や介護離職の問題などについて幅広く議論しています。

取り組みを始めて10年。立場の異なるさまざまな人が同じテーブルで交流することで、参加者同士のネット

ワークができてきたのが収穫、と佐藤さんは実感しています。「自分で知っていることは限られる。この問題ならあの人に聞けばいい」というふうに、困ったときに相談して支援してもらえる人を増やすことが大事だと思っています」と佐藤さん。

取り組みを続けて一定の手ごたえはあるものの、「もっと多くの人にこの集いを知ってもらいたい」と佐藤さんは呼び掛けます。そのために「不満をおつけたり誰かを批判したりするのはなく、自分がやれることを考える場にしたい。専門家も、介護になじみのない一般の人でも満足できる楽しい雰囲気づくりを心掛けたい」と考えています。



11月29日の集いは午後2時から5時まで、新潟市中央区八千代1の市総合福祉会館で。定員70人。介護殺人事件を担当した弁護士によるクロストークや、介護・医療専門職と介護当事者によるリレートーク、グループでの事例検討などを予定しています。

介護者の支援を考える集い

大切な人といっしょに 10年目の誓い

介護の悩みを抱え込んでしまっている方に、どうしたら寄り添えるか多くの仲間と一緒に考え続け、今年で10年目となりました。これまでの活動を振り返るとともに、未来の介護者支援について、一緒に考えを巡らせましょう

10th anniversary

2025年 11月29日(土)

14時～17時 受付開始13時30分～

場所：新潟市総合福祉会館 405・406会議室 新潟市中央区八千代1-3-1

参加対象：福祉・医療関係者、介護当事者もしくはご関係のある方はどなたでも

定員70名

※終了後に新潟駅、万代周辺で懇親会を開催します

プログラム

- 1 介護殺人事件を担当した弁護士によるクロストーク
～裁判を振り返って 残された課題～ 平盛也弁護士×佐藤慎之助弁護士
- 2 介護・医療専門職、介護当事者によるリレートーク
～この先10年の介護者支援を考える～
- 3 グループでの事例検討 ～いざ介護が必要になったら～

主催：新潟介護者の支援を考える会

幹事：佐藤慎之助(弁護士) 石川美奈(精神保健福祉士) 石川美奈(精神保健福祉士)
野村 佳子(社会福祉士) 野村 佳子(社会福祉士) 野村 佳子(社会福祉士) 野村 佳子(社会福祉士)
手嶋 佳子(社会福祉士) 野村 佳子(社会福祉士) 野村 佳子(社会福祉士) 野村 佳子(社会福祉士)

11月29日の集いのチラシ。参加は事前申し込みが必要。問い合わせは

shin-sato@hokushin-law.com

認知症のこと、ひとりで悩んでいませんか？ ～お気軽にご相談ください～

**新潟県認知症
コールセンター**

相談電話

025-281-2783

にほんのなやみ

【所在地】〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階(来所相談も可)
【相談時間】月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00



「どこ」「どこ」はみんなが持っている。それを削って平らにするのではなく、そこには物を入れる余地があると考えてほしい」とユーモアたっぷりに呼び掛ける鳥居みゆきさん(右)



認め合ってつながって

福祉・介護・健康フェア2025in上越

「人と人、世代をつなぐ地域共生社会の実現のために」をテーマに、「福祉・介護・健康フェア2025 in 上越」が9月20日、上越市の高田城址公園オーレンプラザで開催されました。

新潟日報社、新潟県社会福祉協議会、上越市社会福祉協議会の主催。約800人が訪れ、介護や健康づくりなどについて楽しく学びました。

今回の呼び物は、お笑いタレント鳥居みゆきさんのトークショーでした。「どこどこ」は個性と向き合う」というタイトルで、鳥居さんは子どものころから「変わっている」と言われてきたエピソードをユーモアたっぷりに紹介。NHKの「どこ



認知症患者への対応を寸劇で紹介する県立看護大生たち



ナースの白衣体験は子どもたちに人気。スタッフと一緒に「はいポーズ」

こポン」という番組に出演したのがきっかけで、児童発達支援士と発達障害コミュニケーションセッションサポーターの資格を取った経緯にも触れて、「『普通の人』なんていない。それぞれの違いを面白がって、共有できる世の中にしていきましょ

う」と呼びかけました。

このほかシニアファッションショー、食生活改善セミナー、認知症サポーター養成講座など多彩な催しが行われました。

「福祉・介護・健康フェア」は11月8日、新潟市産業振興センターでも開かれます。



卵詰め放題のコーナーは行列ができる人気ぶり



かむ力の大切さを体験した「かむかむガムチェック」



終活について学んだシニアカレッジ新潟の公開講座

職員の笑顔が職場の元気 福利厚生で実現しましょう

会員数
約27万人
(2025年3月現在)

職員1人 毎年度1万円の掛け金で充実の内容!

※非常勤職員向けに5千円コースもご用意しています。

充実した 基本サービス



- 生活習慣病予防健診費用助成 最大3,800円
- 健康生活用品 毎年1品給付
- 電話健康相談 無料
- 永年勤続記念品 5,000円～50,000円相当の記念品
- 長期勤続者退職慰労記念品 20,000円相当の記念品
- お祝品 [結婚:10,000円の商品券 出産:10,000円の商品券 入学:5,000円の商品券]
- 弔慰金 [会員死亡:60万円(就業中・通勤中の事故の場合180万円) 配偶者死亡:10万円]
- 見舞金 [高度障害:60万円 後遺障害(就業中・通勤中の事故):最高120万円
入院(就業中・通勤中の事故):1日につき1,000円
手術(就業中・通勤中の事故):損保会社の定める額
災害:法人20万円 個人1～2万円]
- 資格取得記念品 5,000円相当の記念品
- 各種講習会 受講料・教材費無料
- クラブ・サークル活動助成 1人あたり1,000円
- オリジナルカレンダー、オリジナル手帳、情報誌のお届け

地域密着 サービス

- 会員交流事業
会員同士の親睦やリフレッシュを目的としたグルメ、観劇、コンサート、ツアーなど
楽しいイベントや利用助成を全国各地で実施

お得な 優待割引 サービス



- 指定保養所 優待料金+2,500円引
- 会員制リゾート施設 法人会員料金
- 提携宿泊施設、国内・国外パッケージツアー、レンタカー
- スポーツクラブ、スクール
- ソウェル保険 [団体生命・総合医療保険・積立年金保険、傷害保険、入院保険、がん保険]
- 特別提携住宅ローン、特別資金ローン(多目的ローン)
- 文具・事務用品、書籍・CD、社用販売、子供用品、保健福祉用品・防災防犯用品カタログ販売
- 住宅建築、マイカー購入・リース、結婚式場・結婚支援サービス、葬祭サービス、引越サービス
- ソウェルクラブ“クラブオブ” 企業向けに各種福利厚生サービスを提供する(株)リロクラブと契約し提供しています。
○全国の宿泊施設、レジャー施設、日帰り湯、グルメなど、幅広い分野のサービス
○全国200,000以上のメニュー優待料金

資料請求はこちら

＜法人・事業所のご担当者のみなさまへ＞

サービスの詳細は資料をご請求ください。訪問もしくはオンラインを利用してご説明することもできます。



社会福祉法人 福利厚生センター

<https://www.sowel.or.jp> TEL. ☎0120-292-711

詳しくは または、お電話でお問い合わせください。

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビルディング10階



令和7年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！



ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額			
賠償事故に対応		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)

定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

見舞費用付補償(B型)

基本補償(A型)保険料

+

【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所：1,300円
通所：1,390円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償
- ② 使用者賠償責任補償
- ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償
- ⑤ 役員・職員の傷害事故補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ24-11108 より抜粋)

令和6年度末
現況報告

加入者数減、積立率は100%超確保

「新潟県民間社会福祉職員退職積立基金」の令和6年度末現在の現況を報告します。令和6年度は加入施設・団体数が微増した一方、加入者数は減少しました。

1 加入施設・加入者の状況

	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
加入施設・団体数	649	650	654
加入者数	23,014	22,692	22,563

2 給付の状況

(単位：円/人)

	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
退職者給付総額	721,883,019	823,022,720	818,043,862
一時金給付総額	659,893,643	752,133,682	736,871,556
一時金給付者数	1,802	1,994	1,863
年金給付総額	61,989,376	70,889,038	81,172,306
年金給付者数	1,271	1,416	1,559

3 制度の財政状況

(単位：百万円/%)

	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
積立金	11,453	12,460	12,153
責任準備金(※)	11,332	11,525	11,819
剰余金	121	935	334
積立率	101.1	108.1	102.8

※責任準備金：積立目標額。将来の給付のために保有しておかなければならない積立金のこと。積立率が高い(不足金が少ない)ほど、積立基金制度の財政状況としては望ましい状態にあるといえる。

令和6年度における給付の状況ですが、一時金給付総額及び給付者数は減少、年金給付総額及び給付者数は増加しました。

令和6年度末の財政状況については、前年度比較では苦戦しましたが、積立率は102.8%となり、100%を超えることから安定した運用ができているものと考えられます。

4 基金の時価構成比

(単位：百万円/%)

対象資産	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
国内債券	時価総額	7,633	7,929
	構成比	66.6	63.6
国内株式	時価総額	1,525	1,707
	構成比	13.3	13.7
外国債券	時価総額	859	940
	構成比	7.5	7.5
外国株式	時価総額	1,169	1,526
	構成比	10.2	12.2
短期資産	時価総額	267	358
	構成比	2.3	2.9
合計	時価総額	11,453	12,460
	構成比	100.0	100.0

うれしい記憶

得意げに、作品紹介をしてくれます。私の言葉を素直に受け止め喜ぶ表情は、キラキラという形容詞がぴったり。次回作にも意欲的です。

自分にもこんな時代があったのかしらと思いつつ、今のわが身を振り返ると、せっかく人からうれしい言葉をもらっても、謙遜したり、ひね

もうすぐ6歳になる親戚の子は、ブロック遊びが大好きです。建物、乗り物、動物等々、次から次へ。私の凝り固まった頭では発想できない物ばかりです。

私が感心して「すごいね!」と声をかけると、それはもう

ずむ
2025
Vol.86

キラキラは熱いうちに



始めてみたところ。キラキラをちよっとは取り戻せるでしょうか。

(実央)

くれた捉え方をしたりと、素直に享受できなくなったと思います。

人の記憶はその仕組み上、嫌なことやストレスを感じた体験の方が強く心に残るそうです。確かに、ポジティブな記憶はさほど鮮明には残っていません。せわしい日々の中ではなおのこと。だからこそ、時に自己肯定感を失いがちな私たちにとって、正の感情や記憶を意識的にストックしておくことは重要だと感じます。それが次の行動を起こすための原動力になるからです。

毎日振り返って書き出すのは三日坊主確定ですが、うれしいことや心が動いた出来事をメモに残すくらいなら私にもできそうかなと思います。



赤い羽根情報

妙高市社会福祉協議会では「赤い羽根共同募金助成」を受け、温かいお弁当を届けるお楽しみランチ事業を実施しました。ありがとうメッセージが届きましたのでご紹介します。

あつたか弁当で心も温か

ありがとう
メッセージ



「妙高市社協から

妙高市社会福祉協議会は、住み慣れたまちで安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現を目指し、さまざまな活動を行っている団体です。

毎年、共同募金委員会から助

成を受け、お楽しみランチ事業を実施しています。

この事業は、市内3地区で月2回、ボランティアが手作り弁当を届けることで、高齢者の皆さまに食の楽しみを感じてもらうとともに、見守りや声かけ、安否確認を行っています。

利用者はお弁当を楽しむにしており、それを励みにボランティアはお弁当を作り、配達しています。

お弁当を届ける際には、「お弁当届けに来ました。おかわりないですか」「いつもありがとうございます」と温かい会話が交わされ、笑顔が見られます。

このように、温かいお弁当を届けられるのも、皆さまの寄付のおかげと感謝しています。

これからも地域福祉の推進に努めてまいります。ありがとうございました。

善意のナイスショット!!

新潟市
秋葉区

チャリティゴルフコンペ

第13回「赤い羽根共同募金チャリティゴルフコンペ」が10月13日、新潟市秋葉区の新津カントリークラブ（CC）で開かれ、127人が参加して熱戦を繰り広げました。

恒例の県共同募金会への募金贈呈式では、参加者全員からの寄付金12万7千円を、日本防災士会新潟県支部の松岡輝彦支部長が参加者を代表して、佐藤明県共募会長に手渡しました。

また、会場となった新津CCを運営する新潟観光開発株式会社の吉田至夫社長からも、開場60周年を記念して10万円が贈られました。

佐藤会長は「物価高騰で募金を集めるのは一層難しくなっています。しかし、こうした時代だからこそ共同募金の果たす役

ゴルフコンペ参加者からの寄付金を贈った日本防災士会新潟県支部の松岡輝彦支部長（左）と、県共同募金会の佐藤明会長

割はますます重要になっていきます。今後とも皆さまのご協力をお願いしていきたいと思っております」と感謝の言葉を述べました。



手作り弁当を受け取って喜ぶお年寄り



赤い羽根 情報

支え合いの心を大切に

共同募金 新潟で開始セレモニー

「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まった10月1日、新潟市中央区の新潟日報メディアシップでも新潟県内の「赤い羽根共同募金運動」の開始セレモニーが行われました。

セレモニーでは、恒例の「空の第一便伝達式」が行われ、厚生労働大臣のメッセージと中央募金会長のメッセージが全日本空輸（ANA）のスタッフから

届けられました。

県共同募金会の佐藤明会長が「物価の高騰により生活の困窮や孤立に悩む方々、また子ども食堂などに、少しでも支援を届けられればと思います。さまざまなニーズに応えられるよう、少しずつでも成果を上げていきたいと考えています」とあいさつしました。

ANAの千葉辰也新潟支店長



元気に合唱する「かたひがしこども園」の園児たち



「空の第一便伝達式」で厚生労働大臣のメッセージを届けるANAのスタッフたち

も「災害や物価高による不安が続く中、募金活動の意義が一層高まっています。支え合いの精神を大切にし、今後も継続して取り組んでいく必要があります。ANAグループとしても、新潟の皆さまに貢献できるよう、引き続き努めてまいります」とあいさつしました。

最後に、共同募金の助成を受

ワクワク楽しく募金集め

新潟市社協 初のチャリティーバザー



新潟市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金チャリティーバザーを10月1、2、3、5日の4日間、市総合福祉会館で初めて開催しましたⅡ写真Ⅱ。

「レッド・ホット・チャリマー ケツツ」の企画名でロックをイメージ。カルチャー関連に限定

けて通園バスを整備した、かたひがしこども園（新潟市西蒲区）の年長園児31人が登場。「手のひらを太陽に」を元気に合唱しました。

園児たちは「すてきなバスで遠足や毎日の登園をしています。これからも大切にさせていただきます」と大きな声でお礼の言葉を述べました。

して社協職員や協力企業などから寄付を募り、中古のLPレコードやCD、DVD、本や雑誌など、寄付物品には目安額を設定し寄付金を募りました。

同社協地域福祉課の担当者は「ただ募金を集めるだけでなく、みんながワクワクできるような楽しいイベントにしたかった」と狙いを説明します。会場には料理の本や雑誌、絵本、ガチャなども多数並び、家族連れも楽しそうに掘り出し物を見定めていました。

4日間で集まった寄付は目標の10万円をクリア。全額が赤い羽根共同募金に寄付されます。

福祉の拠点
訪ねて

「学生時代から手話通訳の勉強をしてきました。聴

施設は一昨年3月にオープンしました。かつて別の施設として使われていた建物を借りて、リノベーションしました。

施設長の武藤洋一さん(42)は村上市出身。東京や新潟市の施設などで働いていましたが、人のつながりがきつかけで、それまで縁のなかった柏崎に起業の場を得ました。

聴覚障害者が安心できる場に

緑豊かな柏崎市西山町にある「宅ろう所 太陽と月」は、介護を必要とする高齢者と、聴覚障害を中心にさまざまな障害がある人がともに過ごす全国でも珍しい共生型のデイサービスです。地域とも積極的に交流を進め、「互いに成長できる場」を目指しています。

地域のつながり重視、積極発信

「宅ろう所 太陽と月」の全景



覚に障害のある方は全国で40万人以上といわれていますが、ろう難聴高齢者の行き場所は少ない。介護施設



遠くのスタッフとも手話でコミュニケーションが取れるよう、壁が大きく繰り抜かれてある

では他の利用者とコミュニケーションが取れず孤立してしまうケースもある。そうした人たちが安心して過ごせる場所をつくりたかったんです」と武藤さんは振り返ります。

仲間とともにクラウドファンディングなどで支援を募り、地元以外にも協力の輪が広がりました。

施設を利用しているのは現在約40人。認知症のお年

寄り聴覚に障害のある人たちが一緒に体操したり畑仕事をしたりして、ゆったりと一日を過ごします。スタッフは9人。ろう難聴当事者もいて、利用者のサポートに力を発揮しています。

地元の学校や消防署などに出向いて手話講座を開いたり、特別支援学校に事業所の説明に行ったり、施設では外へ向けて発信を続けています。「施設利用者だけではなく、地元の人たちにもかわってもらえるよう積極的に『営業』しています」と武藤さん。運営母体の株式会社「Deaf Heart」が行っている手話学習会の参加権は、柏崎市のふるさと納税の返礼品にもなっています。

「今後は24時間利用できるように入所施設を目指します。地元の雇用場としても運営を続けていきたい。施設をもっと多くの人に知ってほしいです」。武藤さんは夢を膨らませています。

介護施設の職場体験いかが？

令和8年2月末まで

令和7年度
新潟県介護の魅力情報発信事業
**介護施設の
職場体験** 参加者募集
介護の職場を知ることから始めよう！
実施期間
令和7年6月1日～令和8年2月28日
高校生以上の学生にも
おすすめ！
障害者・未経験者大歓迎！
介護の仕事に復帰したい
あなたにも！
参加費
無料
交通活動
実証に
なります
1日から
体験可能
新潟県福祉人材センター
〒950-8575 新潟県新潟市中央区上高2-2-2 新潟ユニオンプラザ3階
TEL 025-281-5523 FAX 025-282-0548
E-MAIL ni.jinzaicenter@fukushinigata.or.jp/jinza/
ホームページ https://www.fukushinigata.or.jp/jinza/

介護施設の職場体験のチラシ

介護施設の仕事に関心のある人に、仕事の内容や魅力を知ってもらおうと、新潟県福祉人材センターは、「介護施設の職場体験」を令和8年2月末まで行っています。今年度は9月末までに71人が体験に参加。昨年度全体を既に上回っています。

職場体験には特別養護老人ホーム、グループホーム、デイサービスなど県内の約290施設が協力しています。福祉人材センターが、

体験申し込み者の希望に応じて受け入れ施設と日程の調整などを行います。

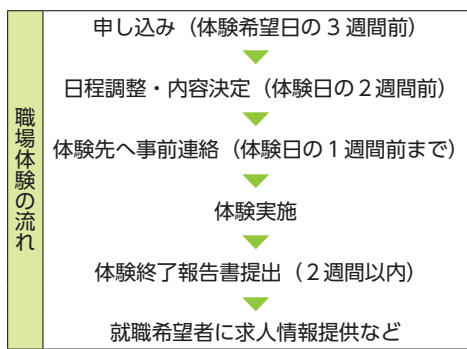
体験を終えた後、介護施設への就職を希望する人には、求人情報の提供や応募書類の添削などのサポートも行っています。

令和6年度に体験した人のアンケート調査結果によると、回答者の半数以上が高校生や大学・専門学校生でした。

体験後の進路では、回答者の25%が福祉分野に就

職、約14%が福祉分野に進学しました。また、約43%が「福祉分野への就職・進学を検討」と答えました。職場体験が「たいへん参考になった」「参考になった」と答えた人は合わせて9割以上に上りました。

福祉人材センターでは「資格のない人や未経験の人も大歓迎」と参加を呼び掛けています。



施設のことを発信できるいい機会だった。イメージとのギャップを埋めるためにも、職場体験受け入れを継続したい。

受け入れた施設の声

体験に来られた方は施設利用者の方とも積極的に交流していた。利用者を笑顔にできて自分も成長できる仕事。ぜひチャレンジを。

介護の仕事は技術だけでなく細やかな気配りが何より重要なのだと実感した。今後の学びに生かしたい。
(60代・一般・女性)

職場体験した人の声

皆さんが親切、丁寧に指導してくださったので安心して体験できた。感謝されやりがいのある仕事だと思った。
(30代・一般・女性)

新潟県福祉人材センター

025(281)5523



申し込みはこちら

柏崎で県内社協会長研修

分野の枠超え連携を

令和7年度市町村社会福祉協議会会長研修が10月23日、柏崎市で行われ、県内30市町村社協のうち23社協の会長が参加しました。

初日は柏崎市産業文化会館で、県社協の伊野智彦常務理事・事務局長と柏崎市社協の高橋敏郎会長が開会のあいさつ。続いて3人の講師が登壇しました。

初めに、重層的支援体制整備事業について、柏崎市と柏崎市社協の担当者が、それぞれの取り組みを紹介しました。

重層的支援体制整備事業は、複雑化・多様化する住民の支援ニーズに 대응するため分野を超えて総合的に対応しようというもので、各市町村で取り組みが進められています。

柏崎市福祉保健部福祉課の高橋佳祐主査は「市社協にも事務局に加わってもらい、一部業務を委託して重層事業を進めている。本格実施3年目となる令和8年度は発展期と位置づけ、分野間の連携をさらに深めながら体制拡大を図る」と説

明しました。

柏崎市社協地域福祉課の小竹成直課長も、市と連携しながら重層事業を進めてきた経緯を解説し、「業務を属人化せずに継続できる人材確保と安定的な財源確保が重要」と強調しました。

続いてNPO法人トライネットの押見敏昭事務局長が、ユニバーサルツーリズム（UT）について講演しました。UTは高齢者や障がい者など全ての人が安心して旅行を楽しめるようにする取り組みです。

押見事務局長は、「新潟県は他県に比べ取り組みが遅れている」と指摘した上で「心のバリアフリーを進めて共生社会を目指したい。UTは観光、福祉、教育、建設などの行政分野が絡む。これを進めることは地域にとってもいいはずだ」と訴えました。

2日目は、コツコツ貯筋体操センターやドナルド・キーン・センター柏崎を視察しました。



パレット新潟店営業日

2025年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2025年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

営業時間 11:30～16:30 □…は休業日

福祉の店 パレット情報

編集後記

終わりが来ないのかと思ってしまうほど、厳しかった夏がやっと終わった。思ったより、職場周辺の木々の葉が赤みを帯びてきた。10月中旬。読者の皆さんの目に触れる頃には、冬の足音も聞こえ始めていられるかもしれない。

時間の流れが年を取るにつれて早く感じられてなりません。筆者が「福祉にいた」の編集担当になった今年の4月以降は特に加速しているようです。

朝の通勤時に車の中で聴いているラジオで、パーソナリティーが「子どもの頃と大人になってからとで時間軸が違うのはなぜでしょう。大人が時間の流れを早く感じるのは、やらねばならないことが次々見えてくるからでは」というような話をしていました。分かる気がします。

「福祉にいた」の編集作業は、おおむね2カ月前を視野に入れながら進めています。毎月あつという間に締め切り日が来て、いつも追いまくられている感じがです。こうして次の1年もまた猛スピードで過ぎることでしょう。

猛スピードで前しか見えなく、見落としてしまうものはいくつもあるに違いありません。時には立ち止まって周囲を見渡す余裕も持ちたい、とは思っているのですが……

(橋)

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人／伊野 智彦
定 価／5 円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいた
令和7年11月1日発行（毎月1日発行）
印刷／島津印刷㈱

ユニバーサルツーリズムの意義を力説する押見敏昭さん

